



小中一貫校 南アルプス市立白根巨摩中学校

伝統からの創造

第 4 号

令和6年7月19日(金)

～思いやりの心と主体性・創造性を備えた巨摩中生の育成～

72日間(1年生にとっては71日間)の1学期が終わろうとしています。「すべては生徒のために…」を合言葉にしながら、生徒と共に教職員も必死に駆け抜けた1学期でした。さて、学期始めにたてた個人の目標に、どのくらい近づけたでしょうか。7月22日(月)から三者懇談が始まります。自分自身を見つめなおす機会にするとともに、先生方や保護者の皆様からのアドバイス等の客観的な見方や捉え方をもち、これからの自分のあるべき姿や、どう努力していくのか、見通しを持てると良いと思います。いつだって私たち教職員は、あなたを、あなたたちを、応援しています。だから安心して持っている力を発揮してほしい、と思っています。

脈々と受け継がれる伝統・文化

白根巨摩中に脈々と受け継がれる合唱。「歌うことによって内面が成長できるものでなければならない」という思いのもと、合唱集會にむけて、教職員と生徒が力を合わせ、練習に励んできました。事前には、学年ごと一度ずつ埴原美枝子先生のご指導を頂きました。7月17日(水)合唱集會本番では、多くの保護者の参観のもと、各学年ともこれまでの練習の成果を思う存分発揮することができました。この生徒たちだからこそ創りあげることができる合唱を披露することができ、体育館中が達成感で包まれました。

白根巨摩中では4つのこだわり——「あいさつ」「清掃」「時間」「服装」を大事に生活していますが、まさに「合唱」も含めて5つのこだわりだな、と感じます。10月下旬には「合唱発表会」があります。歌い込むことによって、さらに自己の内面が豊かに醸成されるような取り組みにしたい、とさらなる高みが見えた1学期の取り組みでした。



小中合同あいさつ運動



7月16日(火)、小中一貫校の取組として、白根飯野小と白根東小の校門前で、児童会役員と白根巨摩中生(生徒会役員、3学年生徒会役員)があいさつ運動を行いました。今回は、事前にオンラインで目的や方法の確認などを行い、さらに連携が深まるよう工夫をしました。小学生、中学生ともに気づきのある、また、今後の児童会生徒会活動を深めるきっかけとなる取り組みでした。「恥ずかしかったけど、あいさつしてみようと思った」と白根東小の児童が言っていました。白根巨摩中では、4つのこだわりのひとつにも入っているあいさつです。こだわらなくてもあいさつすることが当たり前、と言えるようになると良いと思います。

学校評議員・学校関係者評価委員会

7月9日(火)に学校評議員・学校関係者評価委員会を校長室にて開催いたしました。前校長や区長、保護者代表など5名で組織されます。委嘱状をお渡しし、すべては子どもたちのために地域と学校が一丸となって協力し合っていこう、という旨を確認しました。以下は委員さんから出された意見です。

○畑をやっていたり、区をまわったりしていると、白根巨摩中の生徒はよくあいさつをしてくれる。小学生もあいさつをよくしてくれるので、とても気持ちがいいです。

○朝練に走ってむかう姿や後ろ姿から、部活でがんばっているんだな、と伝わってきます。

○生徒会が提案している4つのこだわりが素晴らしい。自分たちの中で考えて、こだわりをもって取り組んだり、行動していることは、社会に出てからも生きてくことだと思えます。

○子どもたちの様子を見てみると、友だち同士大きな声でしっかりと話をする様子が見受けられ、安心してみていられます。

○スクールガードリーダーもやっているのだから、部活がない日の登下校は小学生と重なる。その際にも、しっかりあいさつをしてくれて、気持ちがいい。自転車もしっかりヘルメットをかぶり、1列走行をしている。きっと誰も見ていないところでもそういうことが徹底できているように感じる。保護者、本人、学校、地域の意識も高いのだと思う。そういう意識がいいものをつくりだしているのだと思います。

○先生方の業務が非常に多くて、教育現場がいかに大変か、と心配しています。先生方が体をこわさないで、がんばってほしいと思っています。

○先生方が無理をして働きすぎではないか、気になっています。働き方改革が叫ばれている中です。できること、できないことの区別をしっかりとつけて欲しいと思います。

防犯講話



1年生を対象とした防犯講話を7月18日(木)に行いました。南アルプス署員の坂本さんを講師に招き、「SNSとの付き合い方」について学びました。身近な存在のスマホ、タブレットですが、犯罪件数害は増加の一途をだどり、大きな社会問題となっています。夏休みに入ると、自由な時間が増えます。「犯罪」だけでなく「依存」という面でも気になります。被害者にも加害者にも、依存症にもならないために、正しく知り、正しく利用する、困ったら相談し、決して一人で抱え込まない等、今日の学びを生かしていきましょう。

(文責:教頭 雨宮 文)